

区老連だより

垂水区老連

創立60周年記念式典と

第49回楽しついでい

垂水区老連創立60周年の記念式典を、令和6年10月19日(土) 10時30分から、垂水区文化センターレバンテホールにて開催しました。

総務部会鴨川部会長の司会で開会の言葉、国歌斉唱、物故者への黙祷と進み、主

催者挨拶として区老連松木会長から、少子高齢化という転換期に、地域に老人クラブという存在があつて、多くの仲間が出来、健康を気遣いながら充実した生活ができて、本当によかったと感じている。それぞれのクラブでの楽しい経験や充

実感を周囲の人に伝えていきたいと思います。述べられまして。次に参加された来賓を紹介、うちお二人から祝辞をいただきました。

最後に表彰式に移り、活動賞に西舞子友の会、広報賞に桃山台クラブ、特別賞



えられ、来々震災30年に寄せて避難所でのマイナンバーカード、薬手帳の有効性を紹介されました。

に区老連ブログ開設に貢献した個人に、それぞれ授与された式典は終了しました。昼食休憩の後、気持ちを切り替えて、第49回楽しついでいです。

文化研修部会佐藤部会長の司会で、11クラブが参加し14演目が披露されました。

演目の内訳は、詩吟3組、リズム体操3組、民謡2組、太極拳1組、マジック1組、ダンス1組、笑いヨガ1組、フォークダンス1組、コーラス1組、フィナーレに青い山脈を全員で合唱し14時に閉幕しました。

灘区老連

晩秋のバス旅

伊根湾のグルメと舟屋眺望遊覧



1号車の参加者



2号車の参加者

令和6年最後の思い出の旅は晩秋11月11日で天気は最高!灘区各所よりバス2台

に乗り込んだ74名の仲良し日帰り旅行です。京都天橋立方面へ秋の風情を味わい



モメのカの群れ寄る伊根湾

つつこの春にリニューアルした「橋立大丸シーサイドセンター」に到着。記念撮影をし、丹後半島のグルメ(のどぐろ陶板焼き・焼き鮑・焼きさざえ・甘エビ・橋立そば等)を満喫しました。その後、伊根湾めぐり遊覧船で舟屋を眺めて秋うらら

の静かな内海で30分の憩いのクルーズです。遊覧船を取り巻き群れ飛ぶ数十羽のかもめが甲板に右舷左舷に舞い降り、肩や頭に停まり、空中より小指の爪ほどのポテトチップスを摘まんで飛び去る。驚くも可愛い想定外のスキップのひと時でした。

令和6年は元日早々に能登半島で大地震が発生し、また国内のみならず地球規模で自然災害が散見され、更に国際紛争止まず、政治経済の不明朗もあり、猛暑の高さも長さも記録破りでしたが、過ぎし1年を締め括る佳き一日となりました。



参加者は須磨シニアクラブ会員のほか、その友だちや関心を持つ地域の人のびとで、参加者アンケートの結果は高評価で、当クラブがめざす地域の人のびとの交流促進取組みのひとつになった。

須磨区老連

執行部役員が専用倉庫組立、福祉友愛のついでい開催

須磨区老連は、このたび愛称を須磨シニアクラブと決定した。シニアクラブが行うグラウンドゴルフ大会や室内運動会の用具等は、

勝手がよいように柵も取り付けた。特技を持つ人がリードして全員が協力し、業者に頼らないで自前の倉庫を完成させた。

これまで区役所倉庫に保管しており、搬入と搬出は開庁時間に限られていた。そのため手間暇がかかるので須磨シニアクラブ会長は、倉庫新設場所確保に奔走し、須磨区衣掛町の公園内に3畳程の大きさの倉庫新設について市の了解を得た。次に会長は「資材のみ購入し、基礎工事と組み立ては我々の手でしよう」と役員に呼びかけ。昨年6月13・14日、元建設会社経営の会長の指揮のもと、70代、80代役員が図面を見ながら作業開始。柱、梁の組立ては不具合のつどボルトを緩めて向きを修正などを行って倉庫を完成させ、その内部には使い

また、11月17日には須磨パティオホールで福祉友愛部と女性委員会の合同で「第2回福祉友愛のついでい」を開催した。これは、7月7日に東須磨地域福祉センターで行った「福祉友愛のついでい」が好評で、「再度開いてほしい」「女性委員会の活動をみたい」との要望に応じて実施したもの。内容は、須磨警察署員による特殊詐欺防止と心臓外科の権威である凌駕クリニックの樋上哲哉院長による突然死防止の講演のほか、女性委員会のいきいきクラブ体操、ボランティアのオカリナ演奏と合唱が行われた。

